

2021年11月16日  
凸版印刷株式会社  
株式会社ハイフライヤーズ

## 凸版印刷とハイフライヤーズ、 保育園での園児の居場所や健康状態を可視化する実証実験を実施

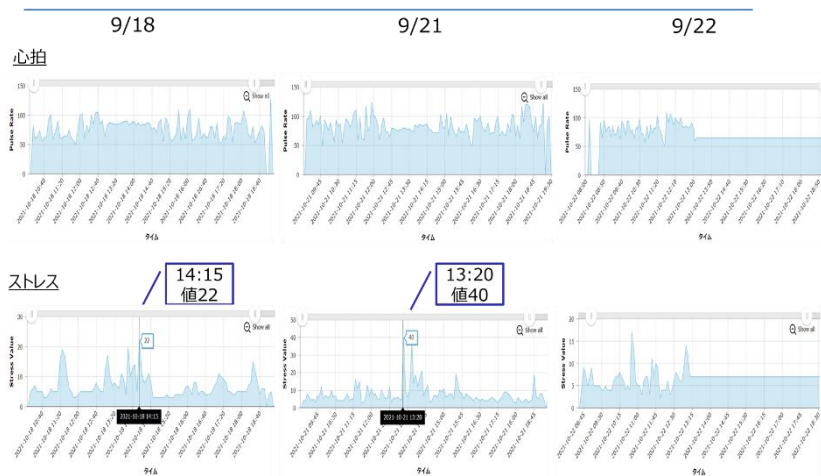
位置情報や映像データ、バイタルデータを組み合わせ、保育園内での園児の安全実現を検証

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:鷹 秀晴、以下 凸版印刷)と株式会社ハイフライヤーズ(本社:千葉県千葉市、代表取締役:日向 高志、以下 ハイフライヤーズ)は、保育園での園児の居場所や健康状態を可視化する実証実験を2021年10月18日から11月12日まで実施しました。

今回、ハイフライヤーズの運営する保育園において、凸版印刷が提供する位置情報とネットワークカメラの映像データによる労務管理と、生体センサー連携によるデータ取得で作業員の健康状態を把握できる「ID-Watchy® Bio(アイディーウォッチャーバイオ)」を活用。保育園内での園児の居場所や、健康状態を可視化する実証実験を実施し、園児の安全実現を検証した結果、データ活用の有効性を確認できました。



「MEDiTAG®」装着イメージ



ストレス計測結果イメージ

### ■ 本実証実験の背景

近年、保育園等では、園児の安全や健康状態の把握など、園児の見守りにより一層の強化が必要となってきました。昨今の保育園等における事故をきっかけに、人の目や経験に頼らないシステムを導入することでヒューマンエラーを補うことが必要とされています。また、バイタルデータを測定し、子どものストレスや異変を可視化することを通じた事故防止等の取り組みが検討されています。

ハイフライヤーズは、千葉県内にて認可保育事業「キートスチャイルドケア・ベビーケア」を運営し、早くからICT化を図り、人の目や経験だけに頼らない保育を展開しています。

凸版印刷は、Bluetooth技術による位置情報と、ネットワークカメラによる映像データを組み合わせ、クラウド上で人や資材の動態を可視化し作業員等の労務状況を分析できるサービス「ID-Watchy®(アイディーウォッチャー)」シリーズを提供。さらに「ID-Watchy®」に、ホシデン株式会社(本社:大阪府八尾市、代表取締役社長:古橋 健士)製のリストバンド型生体センサー「MEDiTAG®(メディタグ)」を連携させ、個人の

バイタルデータ(パルス・転倒検知・ストレスレベル・歩数検知)をリアルタイムに取得、健康状態を把握できる機能を追加したサービス「ID-Watchy® Bio(アイディーウォッチャーバイオ)」を提供しています。

## ■ 今回の実証実験の概要と成果

- ・実施期間：2021年10月18日～2021年11月12日
- ・実施場所：キートスチャイルドケア新田町、キートスチャイルドケア桜木
- ・目的：位置情報、映像情報、バイタルデータの活用による園児の安全実現の検証
- ・各社の役割
  - ー凸版印刷：「ID-Watchy®」機器の提供、実証試験結果の分析および取りまとめ
  - ーハイフライヤーズ：実証試験場所の提供、園児への機器装着支援
- ・成果：園児の保育中におけるストレス・脈拍データ取得、転倒検知による安全・健康の可視化に有効性を確認
  - ＜抽出された要件＞
    1. 保育中における園児のストレス異常値による状況把握
    2. 転倒検知における原因把握
    3. バイタルデータ異常値による体調確認

## ■ 今回の実証実験の特長

### ・保育園内での居場所確認が可能

「ID-Watchy®」によるカメラとBluetooth技術を連動することにより、園内での園児の居場所がモニター可能です。

### ・健康状況を可視化

「ID-Watchy® Bio」で使用する「MEDiTAG®」を園児に装着することにより、脈拍、転倒検知、ストレス値等を計測。園児の急な体調不良の発見等が実現します。

## ■ 今後の展開

凸版印刷とハイフライヤーズは本実証実験の結果を基に、2022年度にハイフライヤーズが千葉県内で運営する保育園、「キートスチャイルドケア・ベビーケア」13園への導入を予定しています。また、その後自治体や企業との協力、展開も視野に入れていきます。

\* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上